令和５年度

第５次総合計画　中期戦略事業プラン　事務事業評価シート

事業名	生涯学習活動情報提供事業			事業番号	11-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	大山　剛	社会教育課	杉山麻里	

計　　画　　（Ｐｌａｎ）

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいがもてるまちをつくる
		施策	11	学習成果を生かせる生涯学習の推進
予算事業名	公民館活動事業費			
事務区分〔選択〕	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　（選択してください）→		法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度　～	終了年度	
関連法令等	教育基本法第3条、社会教育法第3条第3項			
国・県の計画等			計画期間	
関連個別計画	伊勢原市第2期教育振興基本計画、伊勢原市生涯学習推進指針		計画期間	平成30年度～令和4年度
実施の背景（事業を取りまく環境・市民ニーズ）	生涯学習活動の推進には、市民の自主的な活動を支援する取組が必要です。生涯学習活動を始めたい、更に発展させたいと学習・活動意欲のある市民に、既存サークル等の活動状況や市の事業等をわかりやすく提供する環境を整える必要があります。			
目　的（何をどうしたいのか）	生涯学習活動を行っている団体の情報を分かりやすく整理し、ホームページ等を通じて必要な情報を提供することで、市民の生涯学習活動への参加を促します。			
主な対象（誰・何を対象に）	公益活動をはじめ、様々な生涯学習活動をしている市民団体、サークル、ボランティアなど			
事業内容（手段、手法など）	・生涯学習や各種活動を始めたいと望む市民等に対し、分かりやすく必要な情報を提供するため、公民館で活動するサークル等の情報や活動内容等を、ホームページ等を活用しながら広く情報提供します。			

事業行程	項目	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	団体データの更新と情報提供	団体データの更新と情報提供	団体データの更新と情報提供
	ホームページの充実	講座やイベント情報の掲載	講座やイベント情報の掲載

目　標	【指標名】	【現状値】	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	社会教育ホームページ閲覧数	4,000件（令和2年度）	4,100件	4,200件

事業実施（Do）

事　業　実　施　　（Ｄｏ）

事業の「取組方針」 （前年度事務事業評価）	公民館の利用サークル一覧の加除については、適切に修正し、正確な情報提供に努め、学習を希望する市民への支援につなげます。 ホームページについては、社会教育全般について、情報内容を精査し、見易さやわかりやすさを重視した内容に更新します。 講座等の周知については、いせはらくらし安心メールやLINEを活用していきます。

実施方法 〔選択・記入〕				
◉ すべて直接実施		○ 左記以外		
☐ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者		
☐ 補助金		補助先		
☐ その他		具体の内容		

実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	団体データの更新と情報提供	団体データを最新のものに更新	窓口及びホームページでの情報提供を継続
	ホームページの充実	公民館情報の更新	公民館情報の更新

実施した取組の内容	
	○市ホームページのイベント情報分野として、新規に「文化・芸術」のページを追加しました。

目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度	
			令和3年度	令和4年度
	社会教育ホームページ閲覧数	4,000件 （令和2年度）	2,976件	3,484件

コスト	年度	令和3年度　実績				令和4年度　実績			
	事業費合計(a)	5	千円			10	千円		
内訳	国県支出金 ①	0	千円			0	千円		
内訳	地方債　②	0	千円			0	千円		
内訳	その他特財　③	0	千円			0	千円		
内訳	一般財源 (a)−①−②−③	5	千円			10	千円		
	国県支出金の内容								
その他特財の内容	受益者負担	○ 有　◉ 無		前回の改定時期					
その他特財の内容	その他								
人件費	正規職員	0.05	人	409	千円	0.03	人	257	千円
人件費	その他の職員	0.01	人	30	千円	0.08	人	266	千円
人件費	人件費合計(b)	0.06	人	439	千円	0.11	人	523	千円
	トータルコスト (a)+(b)	444	千円			533	千円		
単位当たりコスト　対象数	定義	市立公民館利用登録団体数			単位	市立公民館利用登録団体数			単位
単位当たりコスト　対象数	対象数	1,378	団体			656	団体		
単位当たりコスト	総事業費／対象数	322	円			813	円		

評価　（Check）へ

評　価　（Ｃｈｅｃｋ）

進捗状況 〔選択・記入〕	○ 計画どおり（A） ◉ 概ね計画どおり（B） ○ 計画どおり進捗せず（C）	B	**左記判断理由**	窓口及びホームページでの情報提供を継続実施することで、公民館での団体・サークル活動を希望する市民等への情報提供を行うことができ、一定の成果を得られています。
実施水準 〔選択・記入〕	○ 他市より高い水準で実施（A） ◉ 他市と同水準で実施（B） ○ 他市より低い水準で実施（C） ○ 一律に比較できない事業	B	**他都市の事業内容等**	ホームページを利用した案内や、各公民館窓口で活動サークルの一覧を検索できることは、他市と比較して遜色のないサービスの提供を実施しています。
有効性 〔選択・記入〕	◉ 高い（A） ○ 普通（B） ○ 低い（C）	A	**左記判断理由**	ホームページや各公民館窓口で公民館活動サークル一覧による情報を提供することは、公民館で生涯学習を望む市民への学習機会の提供となっています。特に、見学可能な団体・サークルを一覧で確認できることは、やりたいことがまだ定まっていない利用者に対して、効率の良い紹介ツールとなっています。
効率性 〔選択・記入〕	○ 効率的に実施されている（A） ◉ 改善の余地がある（B） ○ 抜本的な改善が必要である（C）	B	**左記判断理由**	コロナ禍を経て、公民館で活動する団体の減少がみられるなか、公民館を利用する団体・サークルの紹介や公民館事業についてホームページや窓口で周知することを継続するとともに、より公民館の利用促進に繋がる市民への情報提供や市民との情報共有の方法を考える必要があります。

取組内容の改善　（Action）へ

取組内容の改善　（Ａｃｔｉｏｎ）

所管部長による総評	生涯学習の拠点や地域活動の拠点として等、公民館は重要な役割を担っています。これまでの公民館と利用者、利用団体との連携をさらに強化することに加えて、これまで公民館を利用してこなかった市民が関心を持ってもらえるような情報発信をしてください。